

柘植地域 まちづくりだより 第250号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 千五九一四〇二一
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

二〇二〇(令和二)年一月一日(水)

いま、時代は変わり目…

家庭・組・区、 そして柘植地域… 身近なところに関心を



柘植地域まちづくり協議会
会長 城出 憲一

新年あけまして
おめでとうございます
しつこいまま

柘植地域の皆様方におかれましては、良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、まちづくり協議会の諸活動にご支援・ご協力をいただき心より感謝いたします。

さて、昨年を振り返ってみますと五月の臨時総会で役員が改選され、新しい区長さん・各部会長さん・実行委員長さんの新しいスタッフとともに、取

り組んで来ておりますが、行政からの諸問題も多く提議される中、一つずつ前向きに取り組んで行く所存です。地域の皆様のご理解・ご協力を切にお願いいたします。

また、台風接近・上陸による豪雨のため、河川の決壊が至る所で発生し、甚大な被害を及ぼしました。未だにテレビ等で報道がなされているように非常に多く災害が発生した年でもありませんでした。

私達のまち、伊賀、柘植は昔から比較的災害が少なく平穏な毎日をお過ごししておりますが、今後30年以内に南海・東南海地震が70%の確率で発生すると言われていることから自主防災実行委員会のより一層の充実が求められています。その為、初動リーダー会議・事務局会議・実行委員会及び研修会を兼ね有事に万全を期して参りたいと考えます。各区の皆様のご理解とご協力が必要と思われまますので、よろしくお願

いたします。
(2頁に続く)

2004(平成16)年3月31日創刊以来、 このたび 250号 を発行することができました。

伊賀市自治基本条例に基づく地域の組織として、「住民自治協議会」が現在、市内39カ所あります。

旧伊賀町時代に設立となつたいがまち地域の3つの自治協は、「まちづくり協議会」という名称で呼んでいます。

この新しい枠組みである「まち協」は、伊賀市合併時に、人口減少社会等におけるさまざまな課題を解決するための組織としてスタートしました。

『まちづくりだより』は、地域の歴史書でもあります。これからもご愛読をよろしくお願いいたします。

『まちづくりだより』のバックナンバーは、こちらをご覧ください →



250号記念号

柘植地域俳句コーナー
みどり見の
写真大きく
初便

岡島千秋

柘植地域俳句コーナー
父よりの

梯子荷台に
山始

中森三津子

柘植地域各区の共通問題として人口の減少・少子高齢化が重くのしかかっております。空家問題については、一昨年に続き昨年の10月に「移住者の交流会」を開催いたしました。柘植地域の魅力を再発見する場でもあることから、様々な意見等を聞きながら柘植地域をより盛り上げていかなければと考えます。

農業については、11月に産業交流部会の主催により「農業による懇談会」を実施しました。行政・JA・農業委員さん等に出席していただき、各区代表とともに今の農業の現状、後継者、担い手不足、獣害問題等を話し合い情報交換を行いました。

山林問題については、昨年3回目となる阿波地域・布引地域との合同研修を紀北・尾鷲地域の林業先進地域の見学研修を行い見聞を広めたところで、柘植の宝である山林をいかに活性化していけるか模索しているところです。

若い方との取り組みとして、昨年も「消防団員によるワークショップ」を柘植公民館ホール(本年3月31日閉館)で行いました。歴史民俗資料館を見学した後、「ワークショップ」を行い、これから柘植地域を背負っていただく若者の考えや意見を聞かせていただきました。今後のまちづくり運営に役立

てていきたいと考えております。

一方、超高齢化社会(2025問題)がささやかれており、各区では自主的にサロン・見守り体制・支援等に取り組みでいただいているところです。まさに昨年の12月に民生委員・福祉協力員さんが選出され各区のより一層の充実を図っていただけるものと期待しています。今後、各区で問題となる事業が発生した時には、柘植福祉ネットワークとも協力し問題解決を図りたいと考えます。

2018年末より2019年初めに皆様にご協力をいただき実施したアンケートを集約し、地域の皆様が今、何を重要視されているかを検証し、役員会議等で何を行うべきかを現在議論しているところです。

さて、柘植地域まちづくり協議会は本年2月には、設立17年目を迎えます。時代の流れとともに過渡期に来ており、時代に応じた「規約および組織の在り方」を役員会議で議論・検討しているところですが、本年一箇年を通じてある程度の道筋をつけなければならぬと考えているところです。

何時も言っておりますが、まちづくり協議会は各区長さんのご努力・ご協力がなければ成り立ちません。まち協は、区民の皆様と行政のつなぎ役とし

て頑張っていく所存ですのでご協力をお願いいたします。

本年は、東京オリンピック・パラリンピックの年でもあります。世間体に惑わされることのないように近隣の出来事目配り・気配りの出来る体制を大切に、ご家庭、組、区、そして柘植地域と言う身近な情報に関心を持って共有していただくと共に皆様の一層のご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶いたします。

新年のあいさつ

伊賀市長 岡本 栄

新年あけましておめでとうございます。



柘植地域の皆さんには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中はもとより、日ごろから市政の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、伊賀市が誕生して17年目を迎えることになりました。この間、「ひとが輝く 地域が輝く」伊賀市の実現に向け、合併以降の急激な人口減少のなかではありますが、少子高齢化をはじめとする社会情勢の変化や、厳しくなる地方財政を踏まえつつ持続可能な地

域づくりを目指し市政の運営に努めてきたところです。

引き続き、「子どもは伊賀の宝」「誇れる伊賀、選ばれる伊賀づくり」「住み続けたい伊賀づくり」「賑わいを取り戻す」の4つのプロジェクトを柱に皆様とともに邁進していく所存です。より一層のご支援をお願い致します。

伊賀市には、他にない文化・歴史的な遺産、米や牛、酒、焼き物、組紐などの特産品がありますが、それらの振興や高齢化、過疎化、後継者不足などが心配されている所です。こうした地域課題を解決するとともに、特色を生かしたまちづくりを展開するため『キラッと輝け 地域応援補助金』を創設しました。この補助金を活用して、柘植地域では三重県下で最初に開業した柘植駅を核として、柘植駅開業130周年記念事業を実施されました。

その中には開業以来の鉄道遺産や、かつて急行停車駅・乗換駅であった駅前前の賑わい、また現在の地域交通における課題の共有など、市内にJRの駅を有する住民自治協議会と『鉄道や駅の魅力を活かしたまちづくり』に取り組む行って頂いてお



130周年記念シンポジウム(10/19)

ります。

柘植地域まちづくり協議会の皆さんには、忍者トレイランもご支援いただいています。今後は更に、災害時の鉄道利用者の避難誘導や、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2025年大阪万博の開催による、外国人観光客の誘客なども視野に、更なる取組みが期待される所です。

結びに、柘植地域まちづく協議会の益々の発展と、皆さんのご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

2020年新年のご挨拶



伊賀市議会議員

山下 典子

あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も台風15号、台風19号等全国で大規模な災害が発生しました。そうした中で柘植地域まちづくり協議会自主防災実行委員会では「柘植地域自主防災マニュアル」改訂と『家庭保存版』の全戸配布していただきました。伊賀市も、想定最大規模の降雨(概ね1000年に1回程



ハザードマップ

度)による浸水ハザードマップを策定し、昨年「広報いがし」12月15日号の配布にあわせて全戸配布しました。自分の住んでいる場所がどのような状態になっているかを確認し、浸水被害が想定される場合には、身の安全を確保していただきたいと思えます。

そして、県内初の駅として誕生した柘植駅が2月19日に開業130周年を迎えます。柘植駅の利便性向上のために、貴生川駅発着の列車の柘植駅までの全線延伸等をはじめとする列車ダイヤの増強改善、JR関西本線亀山〜加茂間のIC化、バリアフリー等についての要望を今年も続けます。

また、今年には東京オリンピック・パラリンピックの年です。4月9日に伊賀上野城本丸広場から伊賀市役所まで聖火リレーが行われます。これは、57年前の東京オリンピックでは叶わなかったことですので、皆で応援していただきたいと思います。

令和という時代は、社会が連帯し人々が今まで以上に相互に助け合っていく時代だと思えます。「住民が主人公であり、地域が主役である」その言葉を胸に、今年も皆さんと一緒に歩いていこうと考えます。

結びに、今年も柘植地域の皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

高齢化率 4割ライン超える時代に 柘植地域の現状をデータで見てください

新年に当たり柘植地域の将来を考える材料にしてみてください!

★下表の数値は、市のホームページで閲覧できます。

QRコードで市統計をチェック



データは「外国人や区入りされていない方」等を含んだ総数です。(区民数とは違います)

柘植地域の基礎データ

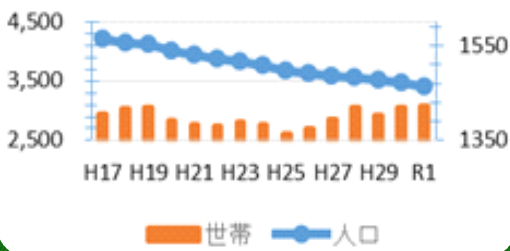
令和元年11月末現在

字名(区名)	世帯数	人口	男	女	高齢化率(昨年からの変化)	
東部	岡鼻	76	166	85	81	42.1%→47.0%
	小林	202	394	212	182	45.9%→47.4%
	柘植青葉台	144	364	174	190	22.4%→21.3%
中部	上町	104	281	138	143	39.0%→40.6%
	下町	133	324	151	173	42.6%→44.6%
北部	倉部	102	260	127	133	43.3%→43.7%
	小杉	92	277	128	149	41.3%→41.9%
南部	山出	67	164	79	85	49.1%→53.3%
	前川	221	468	227	241	36.8%→37.5%
	上村	45	123	61	62	44.9%→46.3%
西部	野村	74	203	91	112	41.6%→43.6%
	中柘植	163	378	183	195	39.4%→39.7%
柘植地域合計		1,423	3,402	1,656	1,746	平均39.7%→40.8%
昨年同期比→		4増	70減	21減	49減	0.9%増

山出区は2人に1人が高齢者時代!

※高齢化率は令和元年9月末現在 65歳以上人口 1,391人(9月末)

人口・世帯数の変化



柘植地域の近未来

令和2年3月末で 柘植公民館(歴史民俗資料館)閉館
 令和2年4月から ふるさと会館小ホール貸出開始
 令和2年4月から 東消防署が東分署となる
 令和2年5月 つつじ祭は中止に(令和3年以降は未定)
 令和4年11月末で 行政無線アナログ方式終了
 令和5年より 朝古川浄水場運用廃止 ...etc

年末年始の特別警戒実施中!

伊賀地区防犯協会伊賀支部

12月19日(木)夕方、伊賀地区防犯協会伊賀支部の総会が行われました。また、その後オークワ伊賀新堂店前で啓発活動を行いました。

柘植地域からは、更生保護女性の会伊賀支部長の川口順子さん、区長代表の西尾光史さん、伊賀保護司会の静永史範さん、三重県少年警察共助員の石河貢平さん、市民センター長の西田方計さんの5名が西柘植・壬生野のメンバーや駐在所の巡査さんとともに啓発しました。



空き巣や忍びこみが増えています! 留守や夜間はカギを閉めましょう!



しっかり対策をして、
新年を迎えましょう!

伊賀警察署電話
0595(21)0110

伊賀警察署QRコード→

